

# イタリア総選挙後の情勢展望

## 「五つ星運動」主導政権が誕生する可能性が高まる

欧米調査部上席主任エコノミスト

吉田健一郎

03-3591-1265

kenichiro.yoshida@mizuho-ri.co.jp

- 3月4日に投開票が行われたイタリアの総選挙は、政党連合では右派連合が、単独政党では「五つ星運動」が最多票を得た。どの勢力も過半議席には届かず「ハング・パーラメント」が確実になった。
- 今後は政党間で過半議席の獲得に向けた合従連衡が進む。連立協議は、選挙で躍進した「五つ星運動」と「北部同盟」を軸として進むだろう。連立協議は長期化が予想される。
- 連立協議の行方は流動的。現時点では、五つ星運動と左派の一部が連立する可能性が高そうだ。政局の行方を占ううえでカギを握るのは、敗北した民主党の動向となろう。

### 1. イタリア総選挙は「五つ星運動」が躍進も「ハング・パーラメント」に

3月4日に投開票が行われたイタリア総選挙は、政党連合では右派連合が、単独政党では「五つ星運動」が最多票を得た。しかし、いずれの勢力も単独では過半議席に達することが出来ず（図表1）、上下院は「ハング・パーラメント（宙ぶらりん国会）」になることが確実となった。

事前の世論調査との比較では、反体制を掲げる五つ星運動と、強硬な移民政策を掲げる極右政党・「北部同盟」が予想以上に票を伸ばした。両党躍進の背景には、難民流入増や低成長といった問題に答えられない既存政党への不信があるとみられる。

右派連合では、北部同盟の得票が「フォルツァ・イタリア」を上回り最大となった。その結果、北部同盟のマッテオ・サルベニ党首が右派連合の首相候補となることが決まった。

中道左派連合/民主党は、政党連合としても、単独政党としても大きく後退した。大敗を喫した民主党のレンツィ党首は、選挙結果の大勢が判明した3月5日に記者会見を開き、政治的な混乱が終息した後に党首の職を辞する旨を表明した。与党の政権運営に国民の「NO」が突き付けられた形だ。

図表1 イタリアの選挙結果（暫定結果）

		上院	下院
<b>中道左派連合</b>		<b>59</b>	<b>117</b>
①	民主党(PD)	53	108
②	その他中道左派	6	9
<b>右派連合</b>		<b>135</b>	<b>267</b>
③	フォルツァ・イタリア(FI)	57	104
④	北部同盟(LN)	57	124
⑤	イタリアの同胞(FDI)	17	33
⑥	イタリアと共に(NcI)	4	6
<b>その他</b>			
⑦	五つ星運動(M5S)	112	229
⑧	自由と平等(LeU)	5	14
⑨	その他	2	3
<b>合計</b>		<b>313</b>	<b>630</b>
<b>(定数)</b>		<b>(315)</b>	<b>(630)</b>
<b>(過半議席)</b>		<b>(161)</b>	<b>(316)</b>

(注)3月7日17:00時点(東京時間)のコリエレ・デラ・セツァ紙による予測値。

暫定予測であり、合計は議席定数とは一致しない。

(資料)コリエレ・デラ・セツァ紙より、みずほ総合研究所作成

## 2. 連立協議は五つ星運動と北部同盟を軸に進むことに

選挙の結果、上下院の「ハング・パーラメント」が確実になったことで、今後は政党間で過半議席（上院 161 議席、下院 316 議席）の獲得に向けた合従連衡が進むだろう。五つ星運動と北部同盟の獲得議席数を合算すると上院 169 議席、下院 353 議席となり、過半議席を越えている。従って、何れか一方の政党、或いは両党が政権に参加する以外、過半議席に届く連立の組み合わせはない。このため、今後の連立協議は両党の動きを軸として進むだろう。

選挙後の各党の連立に関するスタンスをまとめると図表 2 の通りとなる。五つ星運動は、同党を中心とした組閣をめざし、他党全てとの連立を否定していない。報道によれば、同党のルイジ・ディマイオ党首は右派連合よりも民主党を中心とした左派政党との連立を優先させる模様だ<sup>1</sup>。

民主党は割れている。辞任を表明したレンツィ党首は「民主党は下野すべきである」と述べて五つ星運動や右派連合が主導する政権への参加を拒否している。しかし、民主党の一部議員は、レンツィ党首の下野の主張に反対し、五つ星運動との連立を模索すべきと主張している<sup>2</sup>。

独自の選挙戦を行った左派の「自由と平等（L e U）」は、選挙前ではあるが五つ星運動との連立に前向きな姿勢を示している<sup>3</sup>。

これに対し、北部同盟のサルビニ党首は、①五つ星運動との連立は視野に入れていないことと、②右派連合による組閣を目指し、③非政治家内閣への支持は考えていないことの 3 点を選挙後の記者会見で述べた<sup>4</sup>。フォルツァ・イタリアのシルビオ・ベルルスコーニ党首は、サルビニ党首を右派連合のリーダーとして認めたいと、右派連合による組閣を目指す旨を述べている。

首相の任命については、憲法第 92 条で「大統領が任命する」と記されているのみで、組閣過程についての定めはない。組閣は選挙後の各党間の連立協議次第であり、そこで上下院の信任投票を乗り切れる（＝過半議席を確保できる）目処が立った政党および政党連合が政権を樹立することとなる。しかし、今回の選挙のように明確な勝者がおらず、ハング・パーラメントとなった場合には、選挙後の連立協議には、大統領が一定の関与を行う余地がある<sup>5</sup>。今後の組閣過程においては、セルジオ・マッタレラ大統領が影響力を持つことになるだろう。

組閣に係る期間については、特に憲法上の規定は無い。2013 年 2 月に行われた前回の総選挙では、上院が「ハング・パーラメント」となったために交渉が難航し、左右大連立による組閣まで約 2 カ月を要した。今回はその時以上に組閣が長期化する可能性がある。組閣協議が不調に終わった場合は、憲法第 88 条に基づいて議会を解散し、再選挙を行うことも選択肢の一つであると考えられる（国立国会図書館（2008））。

図表2 各党の連立に対するスタンス

五つ星運動	他党との連立協議にオープン。左派政党との連立を優先しているとの報道も。
民主党	レンツィ党首は下野の意向。しかし党内には五つ星運動を支援すべきとの声あり。
自由と平等	五つ星運動との連立の可能性を示唆。
北部同盟	右派連合が政権を担う。五つ星運動との連立は否定。実務家内閣への支持も否定。
フォルツァ・イタリア	右派連合が政権を担う。北部同盟のサルビニ党首が首相候補となることを容認。
イタリアの同胞	五つ星運動や民主党との連立を否定。

（資料）各種報道より、みずほ総合研究所作成

### 3. 連立協議は三つの局面に分かれる、カギを握るのは民主党の動き

今後の連立協議は、大きく三つの局面に分かれるのではないかと筆者は考えている。政局の行方を占ううえで鍵を握るのは民主党の動きとなるだろう。

第一局面では、五つ星運動と右派連合は互いに民主党を自陣営に引き込み、過半議席を確保しようとするだろう。前述のとおり民主党内には一部に五つ星運動の支持を容認する動きがあることや、極右政党に対する民主党の反感の強さを考えると、民主党の取り込みは五つ星運動が有利に進めるのではないかと。五つ星運動と、自由と平等、民主党（或いは同党の一部）で過半議席が構成できれば、五つ星運動のディマリオ党首を首相とする組閣が可能と考えられる。既存政党が政権入りすることで、五つ星運動の極端な政策は抑制される可能性がある。欧州連合（EU）や金融市場参加者にとっては、所与の条件の中では相対的に好ましいシナリオと言え、連立協議の調停役となるマッタレラ大統領にとっても容認しやすい。他方で、政策的には五つ星運動と民主党の間には欧州政策を含めて隔たりがある。

五つ星運動や右派連合が民主党との連立に失敗した場合は、第二局面に進む。第二局面では、五つ星運動と北部同盟による連立の可能性が生じる。前述のとおり、これまでのところ北部同盟は五つ星運動との連立を否定している。しかし、五つ星運動と北部同盟はともにEU懐疑的で、政策的に重なりはある。仮に反EUを掲げるポピュリスト連合政権が誕生した場合、金融市場ではユーロ売りや株価下落が進む可能性がある。他方で、所得分配政策などの点では、フラット・タックス（均等税）を主張する北部同盟と、低所得者向け所得税の全廃を主張する五つ星運動にはやはり隔たりがある。

仮に五つ星運動と北部同盟の連立政権が成立しても、直ちにイタリアがEU離脱に向けた動きを進める可能性は低い。五つ星運動は、ユーロ離脱の是非を問う国民投票実施の可能性を排除してはいないが、それは「最終手段」という位置づけであり、まずはEUに財政ルールの緩和などを求めていく姿勢だ。北部同盟はユーロ離脱を問う国民投票の実施を否定している。代わりに、政権の座に就いた後にEUから主権回復に向けた交渉を行い、2年経っても状況が改善されていなければ、EU離脱を含む過激な手段に向かう可能性があると主張している<sup>6</sup>。

五つ星運動と北部同盟の連立協議も決裂した場合は、第三局面に進む。第三局面では、実質的に過半議席を構成しうる組み合わせは無くなるため、再選挙の可能性が出てくる。但し、再選挙を行っても結果は変わらないか、更にポピュリスト政党が躍進する可能性がある。

#### (参考文献)

国立国会図書館調査及び立法考査局イタリア法研究会（2008）、「イタリアにおける組閣過程における大統領の役割と関連法令」、外国の立法 No. 238、国立国会図書館 調査及び立法考査局、p. p. 96-105

<sup>1</sup> 2018年3月6日付FT報道“Five Star looks left for path to power in Italy”など。

<https://www.ft.com/content/011d9530-2148-11e8-a895-1ba1f72c2c11>

<sup>2</sup> 民主党のミケーレ・エミリアーノ・プーリア州知事は、「長期の組閣交渉を我が国は続けるべきではない。民主党は五つ星運動の組閣に協力すべきだ」と述べている。2018年3月5日付Repubblica報道“Elezioni, Michele Emiliano spinge il Pd a sostenere il governo M5s: "Renzi ormai non conta più””など。

[http://bari.repubblica.it/cronaca/2018/03/06/news/elezioni\\_emiliano\\_spinge\\_il\\_pd\\_a\\_sostenere\\_m5s\\_-190600129/](http://bari.repubblica.it/cronaca/2018/03/06/news/elezioni_emiliano_spinge_il_pd_a_sostenere_m5s_-190600129/)

---

<sup>3</sup> 2018年2月27日付 ANSA 報道 “Possible deal with M5S if common points” など。「自由と平等」を率いているピエトロ・グラーツ議員は、選挙前に五つ星運動との連立について「共通点が見いだせれば可能」という見解を示している。

[http://www.ansa.it/english/news/politics/2018/02/27/possible-deal-with-m5s-if-common-points-3\\_3a2691d6-2b94-4bec-935b-5924f59e1ebb.html](http://www.ansa.it/english/news/politics/2018/02/27/possible-deal-with-m5s-if-common-points-3_3a2691d6-2b94-4bec-935b-5924f59e1ebb.html)

<sup>4</sup> 2018年3月5日付 ANSA 報道 “‘Extraordinary victory’ says Salvini” など。

[http://www.ansa.it/english/news/politics/2018/03/05/extraordinary-victory-says-salvini-7\\_36f88a9f-0289-449f-a0f8-605072a162c4.html](http://www.ansa.it/english/news/politics/2018/03/05/extraordinary-victory-says-salvini-7_36f88a9f-0289-449f-a0f8-605072a162c4.html)

<sup>5</sup> 選挙に明確な勝者がおらず、複数の連立の組み合わせが考え得る場合は、「通常は裁量の余地は無いと解される首相の任命について、任命権者には裁量権を行使しうる余地がある」と解される（国立国会図書館（2008））。

<sup>6</sup> 2018年2月14日付ロイター報道 “Italy's Northern League dangles EU exit in election campaign” によれば、同党の経済政策報道官のクラウディオ・ボルギ氏は、EU 予算へのイタリア拠出分の削減や、EU 条約の改正などを掲げて、そうしたイタリアの要求が認められない場合には、EU 離脱に向かう可能性に言及している。

<https://www.reuters.com/article/us-italy-election-eu-league/italys-northern-league-dangles-eu-exit-in-election-campaign-idUSKCN1FX28Z>

●当レポートは情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成されておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しては、ご自身の判断にてなされますようお願い申し上げます。また、本資料に記載された内容は予告なしに変更されることもあります。なお、当社は本情報を無償でのみ提供しております。当社からの無償の情報提供をお望みにならない場合には、配信停止を希望する旨をお知らせ願います。